

部 局	豊中市選挙管理委員会事務局	補 職	局長	氏 名	樋谷 光義
-----	---------------	-----	----	-----	-------

1. 部局の使命

選挙は、有権者が政治に参加する最も重要かつ基本的な機会であり、積極的な投票参加は民主政治の健全な発展のために欠かすことのできないものと認識し、法令に基づき、選挙事務の管理執行を適正に行い、更に、投票しやすい環境づくりや政治意識の向上に努め、有権者の意思が的確に反映される社会の実現に貢献する。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針 取り組みの総括

方針	取り組みの総括
<p>(1) 当事務局は、選挙管理委員会の職務の執行を補助することを任務としていることから、事務局の運営にあたっては適正に選挙を執行し、投票しやすい環境づくり、必要な人づくり・組織づくりに努めていきます。</p> <p>(2) 明るく正しい選挙の実現のため、選挙時はもとより、平常時からあらゆる機会をとらえて、市民の政治に参加する大切な機会である選挙の大切さについて周知し、公正な選挙に対する意識の高揚や投票行動の喚起を図っていきます。</p>	<p>(1) 令和5年(2023)度は、4月に統一地方選挙(大阪知事選・府議選、豊中市議選)を執行しました。 知事選及び府議選は、4月9日が投票日であり、期日前投票が知事選は3月22日から、府議選は同月31日から始まり、いずれの選挙でも期日前・当日投票において大きな混雑もなく、適正に執行することができました。 また、豊中市議選においては、候補者52人となり、知事選及び府議選におけるヒヤリハット事例の紹介・選挙人への適切な対応などの研修を行い、適正に執行することができました。</p> <p>(2) 本年度も、明るい選挙標語及び明るい選挙啓発ポスターの募集を行いました。標語は市在住・在学の人から、65点の応募がありました。ポスターは小学生36点、中学生579点の応募がありました。そのうち、入賞作品(標語6点、ポスター41点)は、市庁舎等で展示し、幅広く選挙啓発を実施しました。 そのほか、これまでは新型コロナウイルス感染症対策のため、休止していた1月の新成人へのイベントにおいて、各会場で選挙啓発ポスターの応募作品を印刷したポケットティッシュを配布するほか、秋の公民分館で開催された祭りにおいて明るい選挙推進協議会と協働で啓発活動を行いました。</p>

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	統一地方選挙（大阪府議・知事選、豊中市議選）の執行 (1) 大阪府知事選挙及び大阪府議会議員一般選挙並びに豊中市議会議員一般選挙の執行に向けて、選挙人が安心して投票できる環境と選挙事務従事者等が安心して業務を遂行できる環境を整え、公明かつ適正な選挙を執行します。 ①新たな期日前投票所の運営 これまでの庄内文化センター1階ロビーから、新たに令和5年2月に設置された庄内コラボセンター「ショコラ」の4階多目的室を使用し、利便性の高い期日前投票所を運営します。 ②当日投票所の安定的な運営 南部地域の学校等の再編に伴う投票区の変更が生じた場合でも、安定した当日投票所を運営します。	○統一地方選挙（大阪知事・府議選（4月9日投開票）、豊中市議選（4月23日投開票））を適正に執行しました。 期日前投票者数は、いずれの選挙でも全投票者のうち3割近くあり、その割合が大きくなってきています。また、今回から新たな期日前投票所となった庄内コラボセンター「ショコラ」においても、大きな混雑もなく対応することができました。 <実績（知事）>投票率：47.93% 期日前投票者数45,421人 うち本庁16,219人、庄内7,854人、千里（多目的スペース）15,526人、阪大419人、千里（集会場）1,781人、蛍池2,294人、豊島1,328人 <実績（府議）>投票率：47.53% 期日前投票者数43,999人 うち本庁15,671人、庄内7,745人、千里（多目的スペース）14,731人、阪大420人、千里（集会場）1,798人、蛍池2,304人、豊島1,330人 <実績（市議）>投票率：40.91% 期日前投票者数39,229人 うち本庁13,611人、庄内7,443人、千里（多目的スペース）11,720人、阪大359人、千里（集会場）1,940人、蛍池2,593人、豊島1,563人	○期日前投票の投票者数が増加傾向にあり、選挙期日の直近の投票所では、3,000人を超える選挙人がおり、今後の推移から人員体制を検討します。 ○期日前投票所の増設に伴い、事務局及び応援職員の負担と経費負担が大きくなっており、投票用紙の枚数や想定する選挙人などから期日前投票所の運用を検討します。 ○一部の当日投票所において、複数の選挙が執行された場合、投票所が混み合うおそれがあり、投票所及び投票区を見直すなど検討します。
	総合計画		
5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
基本政策			
0			

No	当年度目標(当初設定)		実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>選挙時体制の整備</p> <p>(1) 万全な選挙の管理執行体制の構築をめざして、選挙の本部体制や事務執行体制の見直しを行います。</p> <p>(2) 統一地方選挙において、元職員による従事者が減少したことにより期日前投票所の主担者(当日投票所の総務係に相当)を現役職員とし、その職務内容及び職責を明確にする。</p> <p>(3) 昨年1年間は、新型コロナウイルス感染症や相次ぐ選挙により研修機会が減ったことから、特に経験の浅い職員の研修を重点的に行う。</p>		<p>○万全な選挙の管理執行体制の構築において、選挙期間中の慢性的な長時間勤務による職員の健康を考慮し、時間外時間数の削減や他部局からの応援職員の選任、選挙時の業務内容を明確化、職員の出退勤予定(シフト)表を作成し共有することで、選挙期間中であっても職員の計画的な休暇所得を図りました。</p> <p>○期日前投票において、これまでの元職員による主担者の確保が困難になってきていることから、部局制による職員配置と併用した従事者体制を運用し、現役職員へは選挙事務は市全体で取り組む事業であることを研修などで伝えました。</p> <p>○当日投票所において、各投票所の人員体制は部局制を徹底した運用としており、投票・開票に要する研修や事務内容に係る内容の一部を動画で提供することで、経験の浅い複数職員へ、選挙事務の執行に関する研修の機会の充実を図りました。</p>	<p>○元職員による従事者が高齢化によりその確保が困難なため、今後は現役職員と人材派遣による体制構築が必要となり、永続的な人材確保及び人材育成のあり方を検討します。</p> <p>○期日前投票の人員体制において、現役職員・元職員・人材派遣の3つから構築していますが、投票数などを勘案し、より効率的かつ合理的な運用を進めます。</p> <p>○投票事務及び開票事務における、未経験者等の職員の知識と経験を補うための効果的な研修手法を検討します。</p>
	<p>総合計画</p> <p>5-2- (1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます</p>			
<p>基本政策</p> <p>0</p>				

No	当年度目標(当初設定)		実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果	
			課題・今後の方向性	
3	市民との協働による選挙啓発の充実		<p>○明るい選挙推進協議会とともに選挙啓発の推進を行いました。</p> <p><実績></p> <p>5月26日 定時総会</p> <p>10月下旬～11月中旬 (西丘・克明・東豊中・野畑) 公民分館文化祭、庄内ショコラフェスタ・千里コラボ祭りにて選挙啓発</p> <p>1月8日 新成人への啓発(大阪大学、文化芸術センター、大阪音楽大学)</p> <p>1月30日～2月5日 大阪府選挙啓発ポスター展</p> <p>2月23日～2月25日 豊中市選挙啓発ポスター展(千里コラボ)</p> <p>3月5日～3月11日 豊中市選挙啓発ポスター展(市役所第二庁舎ロビー)</p> <p>3月13日 委員・推進員向け研修会</p> <p>○明るい選挙をすすめる啓発広報誌「白ばらとよなか40号」2月発行(10,000部)</p> <p>○3月13日の研修会において、障害者就労支援事業所から外部講師を招き、障害特性と合理的配慮について、選挙における障害者に対する理解を深めました。</p>	
	<p>(1) 明るい選挙推進協議会や他の民間団体等とともに選挙啓発の推進を行い、市民の政治意識の向上を図ります。特に若年層や子育て世代を意識した啓発に取り組みます。</p> <p>5月 明るい選挙推進協議会総会</p> <p>10月～11月 公民分館まつり</p> <p>2月～3月 明るい選挙啓発ポスター・明るい選挙標語展</p>		<p>○投票率の向上をめざし、積極的な選挙啓発を進めます。</p> <p>○明るい選挙推進協議会の委員及び推進員の高齢化が進んでおり、積極的な新規加入者の応募のほか、年齢によることなく継続して委員等が活躍できるよう柔軟かつ効率的な運営手法を検討します。</p> <p>○明るい選挙推進協議会の委員・推進員の小学校区における活動を通じて、小学生からの主権者教育を充実させる方策を検討します。</p> <p>○障害者の投票支援のために障害者団体と連携するほか、若年層への幅広い選挙・投票制度の周知について、効果的な方法を検討します。</p>	
総合計画				
5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます			
基本政策				
0				

No	当年度目標(当初設定)		実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	<p>選挙の執行に係る知識・技術の蓄積・継承</p> <p>(1) 事務局職員の関係法令、制度に対する習熟度の向上と事務執行能力の向上をめざします。</p> <p>(2) 選挙ごとの振り返りを行うことで事務改善を図り、組織として業務に取り組むことの大切さや時間(期間)の意識の醸成などOJTによる人材育成を行います。</p>		<p>○選挙事務に関する制度や関係法令等を他市町村選管同士で課題検証する事務研究会に、本市職員が出席しました。</p> <p><実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近畿連 (滋賀県野洲市 2名) ・都市連 (初級職員研修 1名) <li style="padding-left: 20px;">(中級職員研修 3名) <li style="padding-left: 20px;">(事務研究会 3回、 <li style="padding-left: 40px;">うち書面開催2回、 <li style="padding-left: 40px;">Web開催1回) ・北部ブロック事務研究会 1回 <li style="padding-left: 20px;">(豊中市で開催) <p>○選挙結果調の作成に伴い、担当者個別の実施内容を振り返り、次回選挙に応用できる点はないかなど、業務に取り組む意識の醸成を図りました。</p>	<p>○選挙事務に関する研修の参加や、法令や制度に関する書籍等から知識を得られ、実際の選挙執行におけるOJTから経験を得られるよう人材育成を行っていきます。</p> <p>○他市町村で行われる選挙に際して、立候補予定者説明会、投票や開票を視察するなど、機会を活用した人材育成も検討します。</p>
	<p>総合計画</p> <p>5-2- (1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます</p>			
<p>基本政策</p> <p>0</p>				

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	<p>選挙時体制の整備</p> <p>(1) 万全な選挙の管理執行体制の構築をめざして、選挙の本部体制や事務執行体制の見直しを行います。</p> <p>(2) 選挙時における候補者や市民からの質問、相談に即座に瑕疵(かし)なく回答できるよう、調査・研究を行います。</p>	<p>(1) 統一地方選挙(大阪府議会議員選挙・大阪府知事選挙・豊中市議会議員選挙)</p> <p>①大阪府知事 令和5年(2023年)4月6日任期満了</p> <p>②大阪府議会議員 令和5年(2023年)4月29日任期満了</p> <p>③豊中市議会議員 令和5年(2023年)4月30日任期満了</p> <p>(2) 参議院議員通常選挙</p> <p>①令和7年(2025年)7月28日任期満了</p> <p>(3) 衆議院議員総選挙</p> <p>①令和7年(2025年)10月30日任期満了</p> <p>(4) 豊中市長選挙</p> <p>①令和8年(2026年)5月14日任期満了</p>
	総合計画	
	5-2- (1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	
	基本政策	
0		
2	<p>投票区の見直し</p> <p>(1) 学校施設の再編や期日前投票者数の推移を踏まえた投票区の見直しを進めます。</p>	<p>①令和5年度(2023年度) 統一地方選挙の執行(新投票区)</p> <p>②令和6年度(2024年度) 義務教育学校・南校の開校に向けた投票区再編の検討</p> <p>③令和7年度(2025年度) 新投票区の決定、周知</p> <p>④令和8年度(2026年度) 4月(仮称)南校開校、市長選挙の執行(新投票区)</p>
	総合計画	
	5-2- (1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	
	基本政策	
0		